

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課
担当課長名：奥村 康博

事業名	一般国道11号 <small>こまつ</small> 小松バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：愛媛県西条市小松町新屋敷 至：愛媛県西条市小松町安井				延長	7.5km
事業概要	<p>一般国道11号は、徳島市を起点に四国の北部を瀬戸内海沿いに徳島県・香川県及び愛媛県下の主要都市を経て松山市に至る全長約230kmの主要幹線道路であり、産業・経済を支える大動脈であるとともに、通勤・日常生活を支える生活道路としての役割をもつ重要路線である。</p> <p>一般国道11号小松バイパスは、一般国道11号西条市バイパス及び主要地方道壬生川新居浜野田線と一体となり、一般国道11号のバイパスとして機能し、いよ小松北IC・いよ小松ICと西条臨海工業団地や東予港とのアクセスが向上するなど、地元産業、経済の活性化に寄与する道路である。</p>					
H3年度事業化	H3年度都市計画決定	H4年度用地着手	H10年度工事着手			
全体事業費	約183億円	事業進捗率 (平成31年3月末時点)	約61%	供用済延長	2.0km	
計画交通量	14,400～22,500台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 3.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 87/241億円 (事業費：61/209億円) (維持管理費：26/32億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 278/359億円 (走行時間短縮便益：252/327億円) (走行経費減少便益：19/25億円) (交通事故減少便益：6.7/6.8億円)	基準年	令和元年	
感度分析の結果	(事業全体)交通量：B/C=1.3～1.8 (交通量 ±10%) (残事業)交通量：B/C=2.9～3.9 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.5～1.5 (事業費 ±10%) 事業費：B/C=3.0～3.4 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.4～1.6 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=3.1～3.3 (事業期間±20%)					
事業の効果等	①円滑なモビリティの確保 ・現道等の時間損失の削減が見込まれる。 ・並行する現道で運行している路線バスの所要時間が短縮し、定時性の向上が見込まれる。 ・JR壬生川駅、JR伊予西条駅（特急停車駅）へのアクセス向上が期待される。 ・松山空港へのアクセス向上が期待される。 ②物流効率化の支援 ・東予港（重要港湾）へのアクセス向上が期待される。 ・西条市が目指す総合6次産業都市の実現を支援する。 ③都市の再生 ・西条地区の愛媛地域高度技術産業集積活性化計画を支援 ④国土・地域ネットワークの構築 ・日常活動圏中心都市へのアクセス向上が期待される。 ⑤個性ある地域の形成 ・主要観光地へのアクセス向上が期待される。 ⑥安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス向上が期待される。 ⑦災害への備え ・愛媛県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に位置づけられている。 ・緊急輸送道路が通行止めとなった場合に大幅な迂回を強いられる路線の代替路が形成される。 ⑧地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑨生活環境の改善・保全 ・NOX排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。					

- ・夜間要請限度の超過区間が改善される。

⑩その他

- ・愛媛県「道路の整備に関するプログラム2018～2027」に位置づけられている。
- ・現道区間の交通安全（歩行者・自動車）向上が期待できる。

関係する地方公共団体等の意見

- ・周辺の自治体である西条市より、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。(H29. 4、H30. 4、R1. 9)
- ・愛媛県知事の見解
対応方針（原案）については異議ありません。本事業は、西条市内の国道11号のバイパスとして臨海工業団地や東予港と市内ICとのアクセスが向上すること、現国道の渋滞緩和や交通安全の確保につながることなど、地元産業、経済の活性化に寄与する重要な道路であることから、引き続きコスト縮減に努めるとともに、事業推進をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

- ・「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・平成18年5月（主）壬生川新居浜野田線（東予有料道路）延長3.5km 無料化
- ・平成19年2月（主）壬生川新居浜野田線 開通
- ・平成20年3月（一）丹原小松線 開通
- ・平成20年3月（一）南川壬生川停車場線 開通
- (その他)
- ・平成19年4月 大型ショッピングセンター(西条市新田)オープン
- ・平成19年11月 観光エリア(鉄道歴史パーク inSAIJO) オープン

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・用地進捗率約58%、事業進捗率約61%（平成31年3月末時点）
- ・西条市小松町北川～西条市小松町妙口間（延長2.0km）については、平成20年3月までに部分開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・調査設計及び西条市小松町新屋敷地区において用地買収推進中。

施設の構造や工法の変更等

- ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

- ・以上の状況を提案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。